

質問	フェブキソスタット錠 10mg「ケミファ」は簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	フェブキソスタット錠 10mg「ケミファ」は、55℃の温湯で 5 分以内、20℃の水で 10 分以内に崩壊・懸濁し、8Fr.のチューブを通過し、「適 1」と判定されました。 55℃の温湯で懸濁して 10 分間放置後、室温で 6 時間及び 24 時間放置後の残存率に変化は認められませんでした。 懸濁液の pH は、55℃の温湯で平均 5.7、20℃の水で平均 5.8 でした。 詳しくは添付のデータをご覧ください。 本資料の情報に関する注意：本資料には承認を受けていない品質に関する情報が含まれます。試験方法等が確立していない内容も含まれており、あくまでも記載されている試験方法で得られた結果を事実として提示しているものです。医療従事者が臨床適用を検討する上での参考情報であり、加工等の可否を示すものではありません。
参考資料	【フェブキソスタット錠 10mg「ケミファ」】 簡易懸濁法に関する資料